

臨床検査科初期研修プログラム（選択科）

研修責任者 井上 聡

研修期間 4 週～

I. 対象となる疾患・病態

検体検査および生理学検査が行われるすべての疾患・病態が対象となる。

II. 研修到達目標

・ 一般目標（GIO）

検体検査の選択、結果の解釈等について学ぶことに加え、生理学検査の手技を習得する。

・ 行動目標（SB0s）

- ① 検体検査がいかに行われているかを知り、それらを効率的に選択することができ、その結果を解釈できる。
- ② 基本的な検査については、それを自ら実施できる。（一般検尿、便検査、血算、血液生化学検査、細菌学検査（グラム染色）、心電図、脳波検査等）
- ③ 生理学検査として、特に超音波検査の手技を習得する。

III. 方略（研修場所：検体検査室、生理検査室）

＜週間スケジュール＞

月～金 午前：実習（超音波検査）

月～金 午後：実習（検体検査、生理学検査の中から選択）

- ・ 毎週月曜日に指導医とその週の研修予定について話し合う
- ・ 検査手技の習得は各検査室の検査技師の指導を受ける
- ・ 研修期間の最終週に、検査技師を対象とした勉強会にて希望のトピックスについて講義を行う

IV. 評価

指導医および検査技師との議論、勉強会における講義内容から評価を行う。

V. 研修医への提言

臨床医である限り検査との関わりが途切れることはない。自分が指示した検査がいかに行われているのかを知っておくことは、正確な診断に不可欠であるだけでなく、多職種との連携のもとに医療が行われていることを知る上においても重要である。研修期間は短い、検査の奥深さと楽しさを実感できる機会にしたい。